

## 「飼育猫」の飼い主の方へ

飼い主のいない猫の問題を改善していくには、飼い主が明確な“飼育猫”が適正に飼育されていることも、大切なことです。

### 1 屋内飼育をする。

飼育猫は、事故や病気、失踪を防ぐために、屋内で飼育してください。

### 2 不妊去勢手術をする。

繁殖を望まない場合には、飼い主のいない猫を増やさないために、不妊去勢手術を行ってください。  
(手術の効果：病気が予防できたり、発情に伴うケンカ、鳴き声が減ります。性格が温和になります。尿のにおいも薄くなります。)

### 3 名札をつける。(身元を表示する。)

首輪などに、飼い主の身元がわかる名札をつけることにより、迷い猫をなくします。  
また、マイクロチップによる個体識別が始められています。

## 磯子区猫の飼育ガイドラインでの猫の定義

#### 飼育猫

飼い主と居住場所が明確であり、主に特定の人からエサをもらい生活している猫

#### 外猫

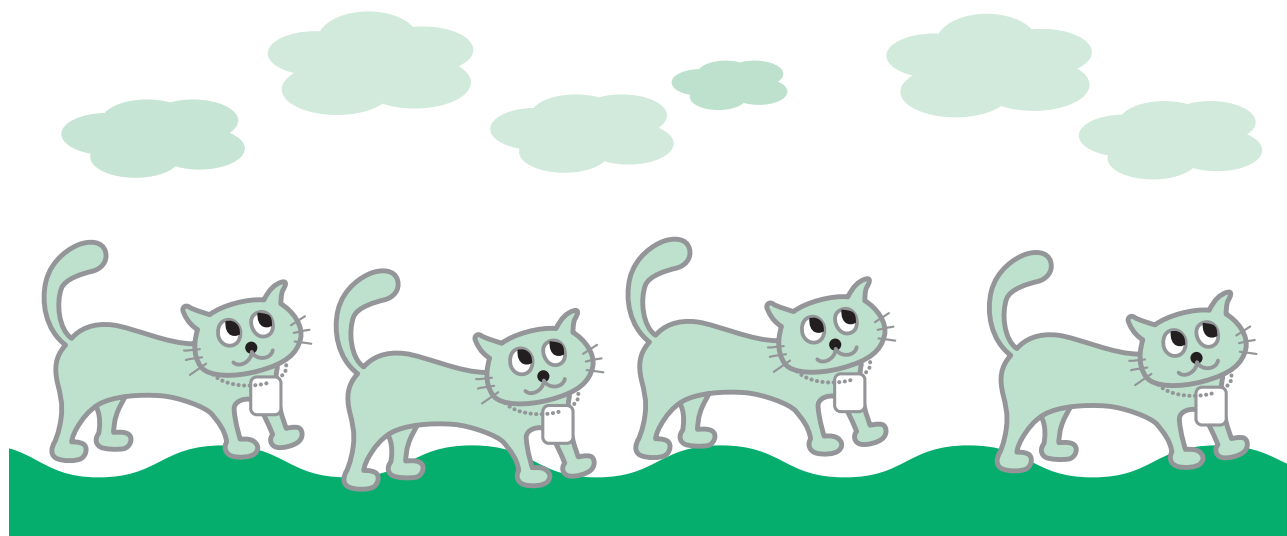
特定の飼い主がなく、地域に住みつき人からエサをもらい生活している猫

#### 地域猫

ガイドラインに示されている「飼い主の遵守事項（外猫の場合）」に従って、地域で適切に飼育管理された猫

#### その他の猫

ノネコ：飼い主の元をはなれ野生化し、常時山野にて野生の鳥獣等を捕食して生息している猫



## ガイドラインの基本的な考え方

- 1 猫を排除するのではなく、命あるものとして取り組む。
- 2 飼い主のいない猫の数を減らしていくために取り組む。
- 3 猫の問題を地域の問題として、住民と行政が協働して取り組む。
- 4 猫が好きでない人や猫を飼っていない人の立場を尊重する。



なぜ、野良猫にエサを与えるだけの世話は、いけないのか？

猫は、生後5、6ヶ月ぐらいから妊娠が可能になり、1年に2～3回、1回に2～8匹生みます。猫が1回6匹生み、半数がメスであると仮定すると、1年で1匹のメスから79匹になってしまいます。1匹の猫を助けようとした行為が、79匹のかわいそうな猫を増やすことになってしまいます。

1年に...

**2～3**回

1回に...

**2～8**匹

